

第17回KEK技術職員シンポジウム

スタッフの育成と組織のプレゼンス —電通大の取り組み—

電気通信大学 教育研究技師部

○高田 亨^{*)}，金子克己^{*)}，田中勝巳^{**)}

^{*)}教育研究技師部，^{**)}基盤理工学専攻

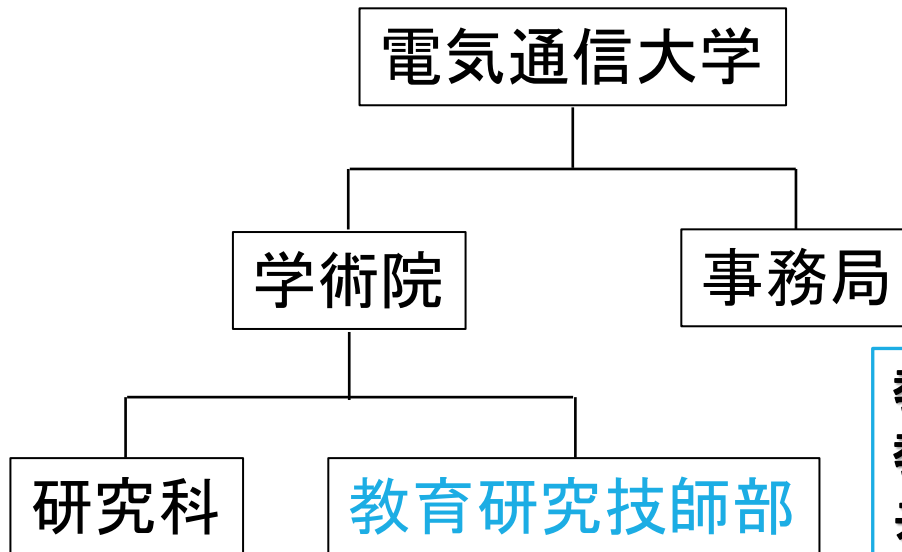


subjects

- 教育研究技師と教育研究技師部
- 教育研究技師が目指すところ
- 教育研究技師の育成
- 教育研究技師部のプレゼンス
- 更なる展開のために...



教育研究技師と教育研究技師部¹



教育研究技師に関する規程
教育研究技師の選考に関する規程
共通業務企画専門委員会細則
運営委員会規程

(教育研究技師部) ー学術院規程よりー

第13条 学術院に、教育研究技師部(以下「技師部」という。)を置き、教育研究技師部長(以下「部長」という。)及び教育研究技師で組織する。

2 部長は、学長が指名する専任教授をもって充てる。

5 技師部に、教育研究技師部運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。



教育研究技師と教育研究技師部2

人事

技術職員組織の改組(～現在)の体制

教育研究技師部

統括学術技師

副統括学術技師
(H28年度から)

主任学術技師

学術技師

配置



実験実習支援センター

情報基盤センター

ものづくりセンター

研究設備センター

業務

所属



subjects

- 教育研究技師と教育研究技師部
- 教育研究技師(部)が目指すところ
- 教育研究技師の育成
- 教育研究技師部のプレゼンス
- 更なる展開のために...



教育研究技師(部)が目指すところ1

求められた教育研究技師像(技術に加えて)

- 助手不在による要請

- 大学運営のスリム化による要請

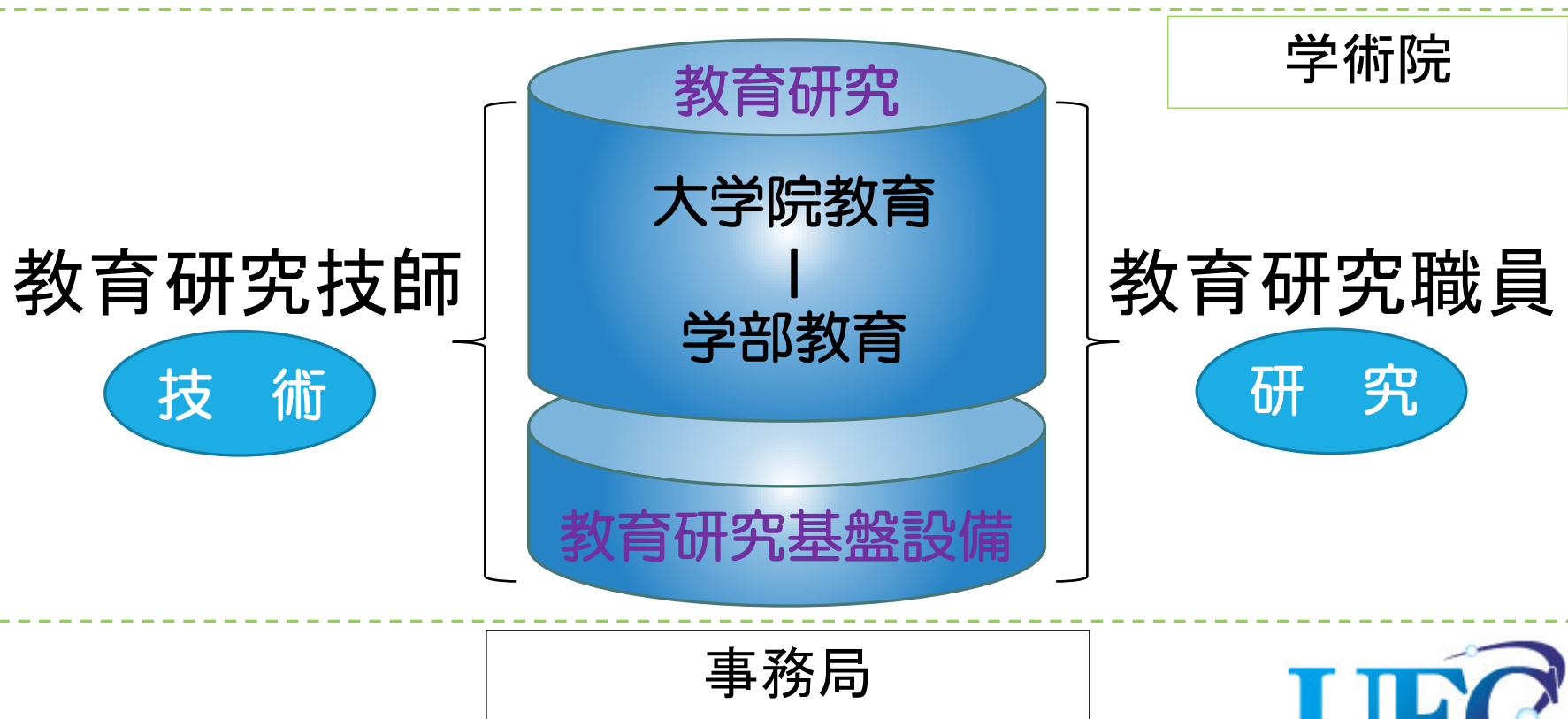
 - 効率的な人材配置体制

 - 教育研究設備の一元管理体制

技術職員+旧来の助手のハイブリッド



教育研究技師(部)が目指すところ2



共に教育研究を支えるスタッフとして協働関係構築



subjects

- 教育研究技師と教育研究技師部
- 教育研究技師(部)が目指すところ
- 教育研究技師の育成
- 教育研究技師部のプレゼンス
- 更なる展開のために...



教育研究技師の育成1

教育＋技術の担い手として

規程的に全教育研究技師が教育に従事

- 教育と教育支援
- 教育研究機器の保守
- 教育母体組織の運営
- その他の技術的業務

能力を併せ持った
人材育成が必要
(必ずしも求められてない
ことへ「でしゃばる」)

1授業(部署)に特化しないような配慮



教育研究技師の育成2

□全学的な研修の取り組み

実行委員会を組織して企画から実施まで

→企画そのものが研修の一部

→教育担当者としての知識の獲得

→教育工学的な手法の学習

年2回大学教育センター，
実験実習支援センター共催で実施



教育研究技師の育成3

□「実験実習研究会」の取り組み

教育で起こる問題の議論

→技術的なノウハウという観点でなく

教育に携わっていく上での取り組み

→取り組んだ上での問題点を共有する

大学教育センター，実験実習支援センター共催
近隣大学とも関係したい



教育研究技師の育成4

□技術研修の取り組み

基本的に技術業務は配置センターにある

→センター毎に研修を実施

→教育研究技師部として把握が難しい

予算の効率的な利用という観点から

教育研究技師部が技術的研修を実施(?)

→配置先で必要となる研修を企画

していくには意識改革が必要

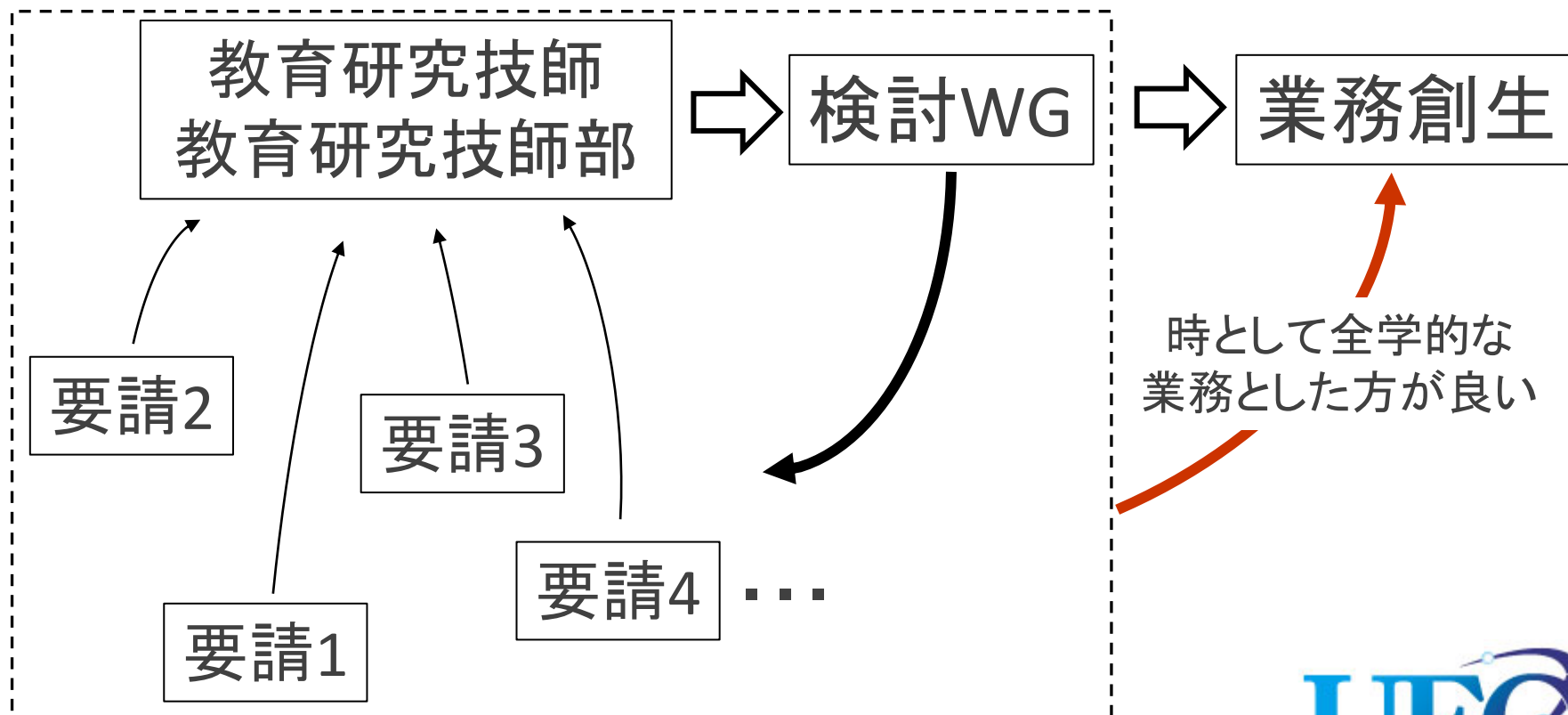


subjects

- 教育研究技師と教育研究技師部
- 教育研究技師(部)が目指すところ
- 教育研究技師の育成
- 教育研究技師部のプレゼンス
- 更なる展開のために...



教育研究技師部のプレゼンス1



「業務創生」=組織のプレゼンス向上



教育研究技師部のプレゼンス2

「業務創生」の一例

「安全管理」体制の構築に協力要請
(本音は自分の研究に関する問題)

- ⇒教育研究技師と部長の間で共通認識
- ⇒部長指示で部内検討後，理事に上奏
- ⇒役員打合せを経て2017年度4月の
スタートを目指す



シニアの育成(活用)という観点から

全学的業務を創生するプロセスから

- ・部長, 上層部, 事務局との人脈活用
- ・部長を動かすのもシニアの仕事
- ・創生した仕事に固執しない資質
- ・安定軌道に乗ったら若手に禅譲する

業務の形を作るまでがシニアの仕事
そういうシニアスタッフ育成が必要



若手の育成(活用)という観点から

- 業務の細部について検討をさせる
=仕事の完成度を高める
- 仕事を通じて信頼を得ること
=次世代の人脈作り
- 業務創生の方法論と過程を見せる
=次世代の運営者を育てる



subjects

- 教育研究技師と教育研究技師部
- 教育研究技師(部)が目指すところ
- 教育研究技師の育成
- 教育研究技師部のプレゼンス
- 更なる展開のために...



さらに展開するために...1

個々の活動を否定しない組織...

→「でしゃばった」スタッフを応援する体制
(人事計画, 業務の人員配置を考える)

→突出したリーダーが1人では意味がない

→力のある人材を複数出せるか?



さらに展開するために...2

柔軟な人員配置を可能にする体制

